

産総研特別公開 2025 における 地質調査総合センターの出展報告

GSI 広報・アウトリーチ推進チーム¹

2025年9月23日(火・祝)に産総研特別公開2025がつくばセンター中央事業所で開催されました。昨年同様、研究者カードや研究者漫画などの話題性もあり、中学生以上を対象に約1,700人の来場者がありました。今回の企画として、研究現場を研究者のガイド付きで巡るラボツアーが25件、模擬店スタイルで研究に触れることができる研究体験ブースが18件、講演会「語り合おうぜ、[研究]愛。」、研究成果を取り入れた限定メニューを提供する産業技術[グルメ]研究所、産総研に入る前と入った後を研究職・事務系総合職と語り合う座談会と相談会、という全体として大きく5つの企画が設けられました。地質調査総合センター(GSI)からは、ラボツアー4件、体験ブース2件を出展し、座談会・相談会に5名の若手研究員が参加しました。



第1図 今年の特別公開のテーマは、「語り合おうぜ、[研究]愛。」。



第2図 座談会+相談会+紹介ブースで愛を感じる。産総研ではたらくって…?

【内容】産総研に入るとき&入ったからのアレコレを研究者と事務系総合職がホンネで語る座談会(事前予約制)+相談会(予約不要)を開催! 人事担当者と気軽に話せるブースもご用意! 研究者志望の方はもちろん、「理系じゃないけど、サイエンスに関わる仕事ないかな〜」というあなたもぜひ!

【担当者】松岡 萌, 志村侑亮(地質情報研究部門), 松本恵子(活断層・火山研究部門), 児玉匡史, 朝比奈健太(地圏資源環境研究部門)

特別公開の概要, ラボツアー及び体験ブースの内容については, 以下を参考にしました。

<https://www.aist.go.jp/sc/openhouse/2025/labtour.html> (閲覧日: 2025年9月23日)

<https://www.aist.go.jp/sc/openhouse/2025/booth.html> (閲覧日: 2025年9月23日)

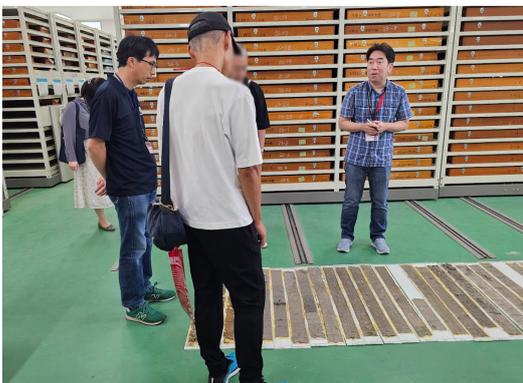


第3図 産業技術【海洋地質】
研究所：デカすぎんだろ…いろんなモノが…地球の歴史を解き明かす海洋地質調査の機材庫潜入ツアー。

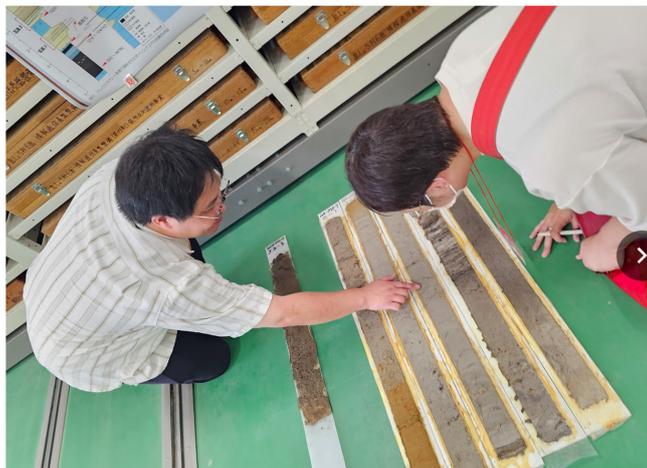


【内容】イカりを上げろ！出航だー！音波探査装置・ドレッジ・グラブ採泥・柱状採泥・セディメントトラップ…私たち海洋地質研究グループは、いろんな機材&方法で海底の地形や海底下の地質構造、海底資源賦存の可能性を調べています。今回はその機材庫へみなさんをご招待！大海原で活躍するバカデカ装置たちをぜひお見せします！調査航海中の悲喜こもごももこっそりお話ししますよ。

【担当者】井上卓彦, 三澤文慶, 石野沙季(地質情報研究部門)



第4図 産業技術【ボーリングコア】研究所：掘って掘って、平野の地面の下をさぐれ！「コア箱」居並ぶボーリングコア庫の見学ツアー。



【内容】平野部の地質調査って、海岸や沢のような露頭がないから難しいんだよなあ…。ではどうするかって？掘るんです、地面の下を！ときには何百メートルも！このツアーでは、掘りたてホヤホヤのボーリングコアの分析現場と、全国で掘られた膨大な標本を収蔵しているコア庫をご案内します。土地の成り立ちを雄弁に語るコア標本の面白さを感じてください！

【担当者】納谷友規, 田邊 晋, 佐藤善輝(地質情報研究部門)



第5図 産業技術【薄片^{ほくへん}】研究所：超貴重！極薄の岩石試料「薄片」を実際に制作して偏光顕微鏡で観察してみるツアー。



【内容】岩石にはどんな鉱物が含まれているのか？その謎を解明すべく、我々は薄片室の奥地へ向かった一岩石を0.03ミリの薄さまで研磨して作る試料，薄片。偏光顕微鏡で観察して組成を調べるのに使われる，地質研究に不可欠な存在です。今回はなんと！薄片づくりの作業を実際に体験できちゃいます！国内有数の薄片づくりの聖地でプロの手ほどきをうけられる，またとないチャンス！

【担当者】佐藤卓見，平林恵理，小倉夏穂，田河輝哉（地質情報基盤センター）



第6図 産業技術【地球科学図】研究所：いざ，“宝の地質図”ねむる禁足地へ…！その数12万超！時空と距離を超える地質図ワールドツアー。

【内容】地質図を中心に古今東西の地球科学図をアーカイブしている，産総研の地質図ライブラリー。祝・開館20周年！って，えっ，前身となる「地質調査所文庫」の発足は1899(明治32)年？！160の国，1,322の機関から集めて集めた12万点を收藏って…規模感バグってない？そんな宝の山「地質図書庫」，普段はもちろん一般立入禁止。ですが！今回特別に公開します！あらゆる時代のあらゆる地質図をご堪能あれ。

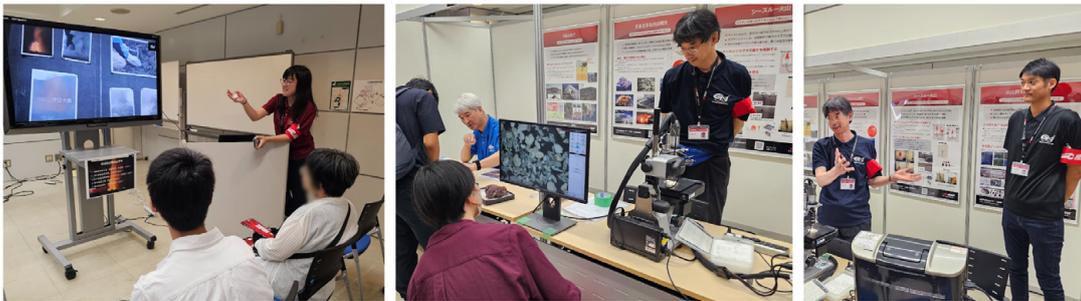


【担当者】佐藤 努，常木俊宏，比田 茜（地質情報基盤センター），宇都宮正志，中村佳博（地質情報研究部門）



第7図 産業技術【大噴火】
研究所：地盤はゼラチン、マグマはトマトジュース!?
キッチン火山で噴火体験!

【内容】地球の雄大な営み、火山噴火。ダイナミックなこの現象を、ご家庭にもある身近なもので再現する「噴火実験」で観察しましょう。透明なゼラチンで作った模擬火山なら、シースルーでマグマの動きがはっきり見えますよ! 実際の噴火で放出されたマグマの破片≒火山灰も顕微鏡で見てみよう! 火山灰のお土産つき。



【担当者】岩橋くるみ, 宝田晋治, 東宮昭彦, 宮城磯治, 山崎誠子, 草野有紀, Conway Christopher, 新谷直己, 池永有弥, 苅谷恵美, 元島温子(活断層・火山研究部門)



第8図 産業技術【地震のしくみ】研究所：その手で弾性ひずみエネルギーを注入せよ。岩石破壊実験で地震発生メカニズムを探れ!

【内容】岩石ブロックに、手動の油圧式ポンプで荷重をかければ…パチパチと聞こえてくるのは岩石の悲鳴。岩石が壊れた瞬間に一気に解放される弾性ひずみエネルギーで、地震のメカニズムを体感しよう。ポンプをこぐ力の変化、破壊の音の頻度変化、岩石の様子の観察…視覚聴覚触覚、五感フル活用だ!



【担当者】GSJ ジオメカサークル:朝比奈大輔, 藤井孝志, 後藤宏樹(CCUS 実装研究センター), 高橋美紀, 大橋聖和, 前田純伶, 細野日向子(活断層・火山研究部門), 北村真奈美, 竹原 孝, 宮崎晋行, 金木俊也, 岩田琉空, 坂本靖英(地圏資源環境研究部門)

GSJ Public Relations and Outreach Team (2026) Report on the Geological Survey of Japan's exhibitions at AIST Special Open House 2025.

(受付: 2025年11月6日)